

手術前の患者さんへ
手術前に知ってほしい事！

手術部

**手術は、がん治療の重要な一角を占めています。
われわれ愛知県がんセンタースタッフは、
患者さんにより良い手術を受けて頂けるよう、
日々、工夫と研鑽を重ねていますが、
手術を成功させるためには、患者さんのご協力も
とても重要です。**

**ここでは、手術を受けられる方に知っておいて
頂きたいことをご紹介します。**

1. 禁煙について

手術を受けられる喫煙者の方へ

手術前には、まず禁煙!!

手術の予定が決まったら

- 1.手術のために禁煙しますと宣言しましょう
- 2.たばこ灰皿を片付けましょう
- 3.禁煙が難しそうなら、禁煙外来を紹介してもらいましょう

ポイント1

喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします

ポイント2

禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり早いほど有効です

ポイント3

禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します

ポイント4

受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう

**あなたが禁煙を考えているなら
手術を受ける時こそ
最良の機会です!**



喫煙と手術の関係

喫煙者は、非喫煙者より術後合併症が多くなります

喫煙の危険性



新型たばこが従来のたばこよりも健康に与える影響が少ないという科学的証拠はありません

術前禁煙の意義

禁煙後の変化

禁煙開始

20分	血圧や脈拍が正常状態に戻る
12時間	血中の一酸化炭素が正常に戻る
24時間	血中のニコチンが消失する
72時間	呼吸がしやすくなる
2週間	心臓の機能が改善する
3週間	傷の治りにくさ・傷の感染しやすさが改善する
4週間	呼吸器合併症の起こりやすさが改善する
8週間	呼吸器合併症が非喫煙者と同等になる

予定手術では4週間以上前からの禁煙が望まれます

2. 手術前の予防接種について

予防接種と全身麻酔

ワクチン接種の後に注射部位の痛みや頭痛・発熱などの副反応が起こることがあります。これらは免疫をつくる過程で起きてしまうのですが、

全身麻酔や手術は免疫に影響するため、ワクチンを接種した

あとに全身麻酔・手術を受けると副反応が強くなったり、ワクチンの効果自体が弱くなる可能性があります。その期間はワクチンの種類に

よっても変わってくるので全身麻酔で手術を受ける方で予防接種を受けた

方は必ず**主治医や麻酔科医にご相談**ください。

手術前にワクチン接種を受ける患者さんへ

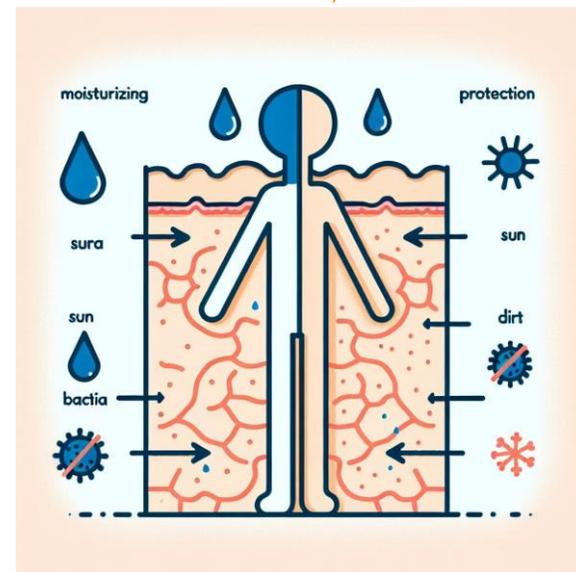
生ワクチンを接種される場合と不活化ワクチンを接種される場合では手術前あける期間が違います。主治医や麻酔科医にご相談ください。

生ワクチン (手術前2日間あける)	不活化ワクチン (手術前3週間あける)
<ul style="list-style-type: none">・麻疹(はしか)・風疹・水痘(水ぼうそう)・おたふくかぜ・帯状疱疹 など	<ul style="list-style-type: none">・インフルエンザ・肺炎球菌・破傷風・B型ワクチン・帯状疱疹 など

3. スキンケアについて

手術が決まったその日から始める毎日のスキンケア

皮膚には体内の水分蒸発を防ぐ「**保湿**」と外部刺激から皮膚を守る「**保護**」の役割があります。この役割を**皮膚のバリア機能**といいます。



手術を受けることで皮膚にも負担がかかり、思わぬ皮膚トラブルを招くことがあります。**日常的に適切なスキンケア**を行っていると、そのような**皮膚トラブルを予防・軽減**することができます。

手術前から正しいスキンケア方法を身につけ皮膚をすこやかに保つよう心掛けましょう。

スキンケアの3原則



洗淨・清潔

皮膚から刺激物・異物・感染源を取り除き、皮膚を清潔にする



保湿

角質層の水分を保持し、乾燥を防ぐ



保護

排泄物などの物理的刺激を低減させる

4. マニキュアについて

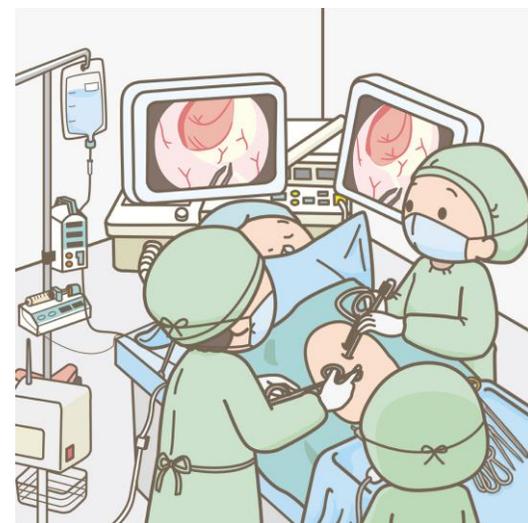


「手術の時はマニキュアを除去してください」と言われるのはなぜですか？

手術中に火傷をする可能性があるから

マニキュアには鉄粉やチタン・クロム等の金属が含まれているものが多数あります。

除去しないまま手術を受けられると、手術に使用する電気機器に反応して発熱し、火傷をする可能性があります。





「手術の時はマニキュアを除去してください」と言われるのはなぜですか？

爪には手術中、とっても重要な役割があるから



手術中は指先に血液中の酸素濃度を測定するモニターを装着します。酸素濃度は爪の動脈をセンサーで透かして測定します。そのため、本来の爪の表面に何かしらの加工(コーティングや装飾など)があると、正常な数値が測定できない危険性があります。誤作動が起こらないようにするためには、本来の爪の状態で計測する必要があります。





手の指、1本だけマニキュアを除去すればいいのでは？

足の指先にもモニターを装着することがあるから

手術中に測定値に異常があった場合は、違う指先にモニターを装着しなおすこともあります。手術によっては足の指先に装着することもあります。万が一に備えるためには「手の指1本だけ除去すればいい」ということができません。そのため、両手両足すべてのマニキュアを除去していただく必要があります。



せっかく施したマニキュアやネイルアートを「落とす」ことで、気分が滅入ってしまうかもしれませんが、手術を万全に行うためですので、ご理解くださいますようお願いいたします。